

やすらぎ生活支援事業の支援のしくみ

	判断能力が しっかりしている間	判断能力低下後
方法	市社協がやすらぎ生活支援事業委任契約に基づき支援	市社協が後見人となり支援
内容	(主に緊急時) ・入院時、施設入所時の保証機能 ・入院、施設入所中の生活用品の手配 ・入院、施設中の金銭管理 ・入院中の自宅の保全 など	(日常的な支援) ・財産管理 ・入院や施設入所契約 ・要介護認定に関する手続き ・福祉サービス利用契約 など

大分市 社会福祉協議会

頼れる身寄りのない人が安心して暮らしていくために

★連絡先

住所 大分市碩田町3-5-11

TEL 097-533-7575

FAX 097-533-6803

【活動目的】

近くに頼れる身寄りのいない方の場合、「入院時」や「施設入所時」、または「物忘れが出た時」などに本来、家族が行うような支援が受けられないことで困るケースがあります。

そこで、成年後見制度に判断能力がしっかりしている間における主に入院時や施設入所時などの緊急時の支援を追加した「やすらぎ生活支援事業」を平成24年度より実施して、「頼れる身寄りのない方」の支援を行っています。

しっかりしているうちに契約することで、万が一、判断能力が低下しても、同じ大分市社会福祉協議会が支援を継続できることが特徴です。

【活動内容】

判断能力が低下する前は、やすらぎ生活支援事業委任契約にて、主に入院時や施設入所時といった緊急時の支援を行い生活を支えます。そして、判断能力が低下し、必要となれば、事前に契約している任意後見制度に移行して、後見人として日常生活全般を支えていく仕組みとなっています。

利用者については、支援を必要としていない場合についても、毎月一回は電話や訪問で安否確認を行っています。また、いつ、支援が必要となるか分からないため、勤務時間外も携帯電話にて連絡を受ける体制をとっています。

【できごと】

現在の利用者は、皆、まだ、元気にされており、ただ、安否確認を行いながら見守っている状況ですが、何かあった時に社協からの支えがあることで「安心して生活できるようになった」と喜ばれています。



別府市 社会福祉協議会

別府市福祉まつり・
市民と消防のつどい

★連絡先

住所 別府市上田の湯町

15番40号

TEL 0977-26-6070

FAX 0977-26-6620

【活動目的】

高齢者・心身障がい者（児）の方々をはじめ、市民だれもが地域社会の中で安心して心豊かに暮らしていける地域福祉を実現することを目的とし、あわせて防火意識の高揚と消防行政への理解を深めていただくために開催しています。

【活動内容】

市内の小学校区に設置している17地区社会福祉協議会、福祉団体の参加による模擬店、バザー等を行っています。また、市消防本部によるチビッコレンジャー体験、放水体験、水消火器体験、消防車両の展示や防火風船の配布等も会場内にて同時に行っています。

会場内ステージイベントとして、民間社会福祉施設保育園部会によるダンス演技、フラダンス演舞、ミニライブ等を催し、市民の方々が、一日、ふれあい、楽しんでいただけるような内容で、毎年11月に別府公園で行っています。

【できごと】

市内の多くの様々な福祉団体が参加することによって、福祉団体間の連帯強化や情報交換の場となっていて、あわせて市内で福祉活動に取り組んでいる福祉団体のPRの場となっています。



中津市 社会福祉協議会

中津市社協 買い物支援事業

★連絡先

住所 中津市山国町守実130番地

TEL 0979-62-2898

FAX 0979-62-2905

【活動目的】

この事業は、高齢による心身の機能の低下及び家族形態の変化や交通機関等の地域事情により、日常生活において現在及び将来的にもさまざまな支障が生じている状況をふまえ、生活と心身の健康を維持するための「買い物」をすることが困難な高齢者世帯等に対し、買い物支援による関係づくりを支えていくことを目的としています。

【活動内容】

中津市山国地区の高齢者世帯等のうち、買い物支援を希望するもの及び買い物困難地域におけるサロン活動拠点において、見守り相談等を兼ねた宅配サービスや買い物お出かけサロンを実施しています。

平成24年度は、29人の登録があり、月平均9人が週に1回～2回程度の宅配サービスを利用しています。利用者からは、新鮮な魚貝類や野菜の配達が喜ばれています。

また、「買い物お出かけサロン」を試験的に実施しています。



買い物お出かけサロンの様子



←歌や舞踊、
ダンスなど、
見どころ満載
のステージ

日田市 社会福祉協議会

福祉と企業が
つながる取り組み

住所 日田市上城内町 1-8
市総合保健福祉センター3 階
TEL 0973-24-7026
FAX 0973-24-3452

→のみの市は
掘り出し物の
商品が多く、
毎年賑わって
います



【活動目的】

「歳末たすけあいチャリティーショー」を実施しています。この事業は、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金、それに係る事業のPR および理解の促進を図るとともに、福祉課題解決のための支援活動の財源確保を目的としています。

【活動内容】

市内の福祉団体等と実行委員会を立ち上げ、チャリティーショーに出演していただける芸能団体や出演者の選出、市内の各企業等より抽選会景品の提供及び寄付金を募ります。ショー観覧者にも、抽選券付き入場券を買っていただきます。各地区の民生委員や地区社協役員の協力を頂き、のみの市商品の収集を行なっていただきます。

当日は、各单位民児協会長により、のみの市物品の販売を行なっていただき、益金のすべてが、歳末たすけあい募金へと寄付されます。この事業における寄付金や入場券販売益金のすべてが、歳末たすけあい募金へと寄付され、歳末たすけあい事業の事業費として配分されます。

【できごと】

福祉事業に、市内の企業が協力していただけることは少なく、歳末たすけあいチャリティーショーは、福祉と企業がつながる貴重な事業です。各企業は抽選会賞品等でPRを行う事ができますし、観覧者も芸能団体のショーや企業の抽選物品を期待し、入場券を買っていただいています。この事業は、歳末たすけあい募金の収益を上げるだけでなく、すべての関係者や参加者がお互いにメリットのある事業となっています。



佐伯市社会福祉協議会

佐伯市社会福祉協議会
イメージキャラクター
「ひとしずくちゃん」

★連絡先

住所 佐伯市向島一丁目1番3号

TEL 0972-24-2956

FAX 0972-22-9031

【活動目的】

住民に親しみやすいキャラクターを誕生させ、それを社協が実施するあらゆる事業の中で有効に活用し、社協の活動をPRしていきたいと思っています。

【活動内容】

キャラクターを公募という形で広く市民に呼びかけたことによって社協のPRに繋がり、また、市民みんなの手で作り上げるという気運を盛り上げることができたと思います。

募集期間は1か月、応募要件に佐伯市内に居住している方と限定しましたが、最終的に29点の応募がありました。その選考方法に関しても、自分たちの愛すべきキャラクターは自分たちで決めたいとの職員の熱い思いから29点の作品を対象として投票による総選挙を実施しました。得票点数で最高点だった『ひとしずくちゃん』がイメージキャラクターに決定されました。

【できごと】

『ひとしずくちゃん』のお披露目を、佐伯市の社会福祉大会の日に行いました。会場から「かわいい〜！」という声が聞こえた時、「やった！」と思いました。



佐伯市 社会福祉協議会

佐伯市社協・延岡市社協間 災害時相互応援協定

★連絡先

住所 佐伯市向島一丁目1番3号

TEL 0972-24-2956

FAX 0972-22-9031

【活動目的】

災害が発生した際、被災した社協が独自では十分な災害救援活動が実施できないときに相互に協力して人的・物的支援することを目的としています。（災害救援活動に限られません）

【活動内容】

平成24年度に双方の事業についての意見交換を行い、その中で延岡市社会福祉協議会が五ヶ瀬川水系という繋がりで1市3町社協での協定を結んでいることを参考に、隣接する両社協でも締結することとなりました。（県境越えての協定は全国で2番目）

「災害は日頃の活動の延長線上にある」として、災害時の応援はもちろんのこと、地域福祉事業をはじめとする全体的な社協事業の意見交換を継続的に行い、先駆的な住民ニーズに対応できる社協を目指して継続した交流を行っていくこととしています。

【できごと】

双方の担当が東日本大震災後に実施された、九州ブロック派遣で一緒だった「同志」ということもあり、一社協として絆の大切さを改めて感じました。

25年度予定：地域福祉事業のプレゼン大会（佐伯）・合同防災訓練（佐伯）・社協事業検討会など



津久見市 社会福祉協議会

向こう三軒両隣の 見守りネットワーク づくりに向けて

★連絡先

住所 津久見市中央町760番地133

TEL 0972-82-5000

FAX 0972-82-5003

【活動目的】

高齢化や少子化、過疎化や核家族化…さまざまな要因が複合的に混ざり合っ、地域力の低下が引き起こされている現状ですが、多くの市民は「住み慣れた地域で暮らし続けたい」との思いを持っています。問題を解決し、誰もが安心して暮らせる津久見市であるためには、福祉施策やサービスの整備だけでは限界があります。

そこで、地域における保健福祉部門の位置づけで、市民にそれぞれの地域課題等を話し合っただく場所として、また、身近な範囲での見守り・支え合い活動を広げただくための拠点として、地区社会福祉協議会（以下、地区社協）の設置を推進することになりました。

【活動内容】

平成21年度より、津久見市の行政区（自治会）ごとに懇談会を実施しました。今後5年・10年先の地域を見越した際に、身近な範囲での見守りや支え合いの必要性があるのではないかという趣旨に賛同いただいた24の区で地区社協が設立されています（行政区は全部で31。設立地区社協数は、平成25年2月28日現在のもの）。

【できごと】

平成23年度、地区社協の実動要員である行政区の区長、介護予防推進員※、民生委員児童委員、主任児童委員に地区民児協単位で集まってもらい、意見交換会を行いました。この意見交換は、それぞれの区の誇れるところや課題、見守りや声かけの現状などを話し合うことで、自分の地域の見直しや他の区に対して今後の取り組みをPRすることが目的でしたが、最終的に全地区民児協単位で開催され、「区長を含めた話し合いの場が持てて良かった。」との感想が多く聞かれました。

平成24年度は、「他の地区社協との話し合いを深めることで、自分の住む地域の活動がより活発になるように」と、意見交換会が自主的に開催されており、向こう三軒両隣の見守りネットワークづくりへの取り組みが、各地区社協が主体となって進められるようになってきています。 ※介護予防推進員：民生委員児童委員と協力し、地域の見守りや声かけを推進する市の特別職員。行政区の区長が推薦し、市長が任命。任期は2年。



竹田市 社会福祉協議会 (久住支所)

寝具類洗濯 乾燥消毒サービス事業

★連絡先

住所 竹田市久住町大字久住 6161-1
TEL&FAX 0974-64-3823

【事業目的】

自宅で生活されている支援が必要な方々（ひとり暮らし高齢者等）に対し、寝具類等の洗濯・乾燥・消毒サービスを提供することにより、清潔で快適な生活が送れるよう支援することを目的としています。また、寝具類等の受取りの際に健康状態や困りごとがないかを確認します。必要があれば、関係機関へ連絡します。

【事業内容】

- 対象者 竹田市久住地域在住のひとり暮らし高齢者等。（低所得世帯層を対象）
- 周知方法 ひとり暮らし高齢者世帯への文書による周知。
- 費用 利用者一部負担あり。差額は社協負担。クリーニング業者の協力によって通常より安価で洗濯していただいています。
- 時期 年2回（7月・2月）

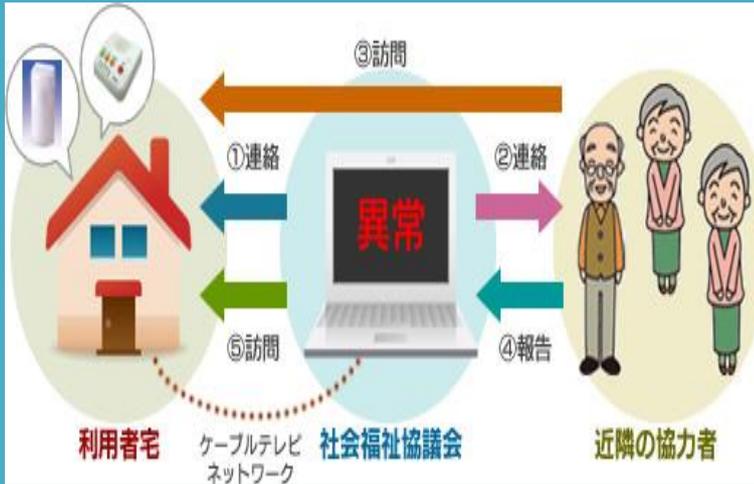
【できごと】

「ひとりじゃ布団洗濯しきらんし、布団が重みてえけん干しきらん。コインランドリーには持って行っきらんしなあ。たすかるわあ。」訪問した時に笑いながら話しかけてくれるKさん。介護保険は利用しておらず経済的に困窮している。「布団はいつできるんな？あわてんでいいで。」そう言い終えると、「昔はなあ…」と言い伝えや今はなくなったお祭りの話、手紙や通知文書など文字が細かいので読めないというお話から、家族の愚痴、ご近所の噂話までお話をしてくれます。ひとしきり話をした後、「あ、あんたにいらんことまで話しちしもーた。」と照れながら言われた時には、「大丈夫です。だーれん（誰にも）言わんです。」と答え、お互い笑いあいます。時には、「隣の〇〇さんは、何でも言うてなあち言ってくれるけど、なかなか言えんわ。」と、ご近所さんに『何でも』願うするには気が引けるというお話も。普段から気にかけてくれているご近所さんほど、電球の取り換えなどのちょっとした作業のお願いは遠慮してしまう——そんな小さなつばやきから、地域のつながりを支援しています。

この事業を通じ、利用者には快適な生活を送っていただき、日常の困りごとやニーズの把握、日頃からのつながりが持てるような関係を構築すること、そして、少しの時間でも元気な笑顔を見ながらお話できることが、職員にとって貴重な時間であり今後の励みになっています。

豊後高田市 社会福祉協議会

ケーブルネットワーク 施設を活用した安否確認 見守りネットワーク



★連絡先

住所 豊後高田市臼野 4335 番地 3

TEL 0978-25-5100

FAX 0978-53-5755

【活動目的】

この事業は、一人暮らしの高齢者等の安否を機械機器と社協と地域の人々で確認をするものです。この、地域の人々が一人暮らしの高齢者等を日常的に見守る活動をととして、近隣の協力者（地域の人たちで構成される安否確認グループ）が社会福祉協議会と協働して地域全体で支え合いを行い、安心して暮らせる地域福祉づくりをめざしています。

【活動内容】

市のケーブルネットワークに加入している対象者（80歳以上の独居高齢者等）のお宅に「人感センサー」を設置し、そのセンサー情報を告知端末機器から安否確認サーバーを通して、社協に設置されたパソコンに表示します。センサーの反応がない対象者について、あらかじめ対象者が決めておいた近隣の協力者（3名）のうち1名に社協から安否確認を依頼します。

もしも、社協から近隣の協力者（3名）に連絡がとれない場合は、社協職員が対象者の安否確認に向かいます。また、安否確認は365日行っています。

【できごと】緊急対応事例

- ① センサーに反応がなく、利用者と連絡が取れなかったため、協力者が利用者宅へ確認に行くが、玄関に鍵が掛っていた。社協職員が利用者宅へ向かい、窓を開けて入室した。利用者は廊下で倒れていて利用者は「腰が痛くて動けない」との訴えがあり、救急車で病院へ搬送され、骨折もしておらず大事に至らなかった。（その後、利用者は退院し、現在も在宅で生活をしている）
- ② センサーに反応がなく、利用者と連絡が取れなかった為、協力者に利用者宅へ向かうようお願いした。協力者より居間で倒れている利用者を発見したとの連絡があり、利用者の意識はあるが、低体温症の為、協力者が救急車を要請したとの連絡を受け大事に至らなかった。（その後数日間入院し、後日退院した。現在も在宅で生活をしている）



杵築市 社会福祉協議会

あかちゃんから高齢者
まで楽しめる「きつき
ボランティアまつり」

★連絡先

住所 杵築市大字猪尾 941 番地

TEL 0978-62-2649

FAX 0978-62-2659

【活動目的】平成10年度から、ボランティアの交流・発表・啓発の場として、また市民とのふれあいの場として、杵築市健康福祉センターを会場に毎年開催。2年前からは、公立幼稚園会行事「幼稚園ウィーク」を取り込むなど、子どもを含めた若い層の参加が一段とふえました。

また、出店の福祉団体等には、活動資金の一助にもつながっています。民生児童委員・福祉団体・企業等による実行委員会を設置し、前日準備・当日運営のスタッフとして、民生児童委員・福祉委員・社協職員が活動するなか、40 を超す関係団体をはじめ、協賛 50 団体の協力で成り立っています。

「きつきボランティアまつり」を開催することで、多くの関係機関・団体との接点が増えることに加え、これまでの「社協＝高齢者支援活動」と捉えられがちなイメージの打破にもつながっているようです。

【活動内容】主会場の特設ステージでは、各団体による日頃の活動披露をはじめ、「赤ちゃん相撲はっけよい！」や幼稚園児による手話コーラス、社協デイサービスセンターのミニステージなどで賑わいます。出店の各コーナーでは、福祉団体・ふれあいサロングループ・企業などによる模擬店・フリーマーケット、そして「世代間交流コーナー」と銘打った老人クラブのしめなわ体験指導、ジュニアリーダーのプラバン工作体験、県青少年育成アドバイザーによるリサイクル風車、ストーンアート、デコパーシュ、シュガーアートなど、文字通り子どもから高齢者まで楽しめます。

ホールで開催の「ほのほのボランティアあかちゃんピック」では、50 名を超えるエントリーに多くのギャラリーで、オリンピック競技場？は熱気ムンムン！グラウンドに目をやれば、公式玉入れ競技「それいけ！玉入れ 社協カップ in きつき」でも、熱き戦いが繰り広げられます。“たかが玉入れ、されど玉入れ！”に、はまる方もいるようです。

通算16回目となり、課題もありますが、『あかちゃんから高齢者まで楽しめる』スタンスで、地域に少しでも多くの幅広い『社協ファン』が生まれることを楽しみに継続できればと祈っています。



宇佐市 社会福祉協議会

子ども子育て家庭への支援

★連絡先

住所 宇佐市安心院町下毛2111-1
安心院総合保健福祉センター内

TEL 0978-44-0334

FAX 0978-44-1316

【活動の目的】未就園児を子育て中の保護者に、お子さんと一緒に集い交流する場を提供し、子どもや子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的に行っています。

【活動内容】

“にこにこ広場 安児夢（あじむ）”は、宇佐市社会福祉協議会が実施する児童館型の地域子育て支援拠点事業です。毎回、7、8組の未就園児とお母さんが来館されます。

屋内の公園のイメージで、基本的には自由に遊んでもらっていますが、週に1回程度、子どもや子育てに関する講習会やリトミック、季節の製作、お母さんたちがお茶とスイーツをいただきながらの交流会“にこにこカフェ”を開催するほか、運動会や水遊び、クリスマス会など季節の行事も行っています。また、児童館を利用する小学生との交流も双方にとって楽しみようです。

以前利用していた方で、お子さんが保育園に行っている間にお母さんだけがおみえになったり、二人目の出産でしばらくお休みしていた方が、生後2か月のまだ首もすわらない赤ちゃんを連れておみえになったりすることもあり、「子どもの遊びとふれあいの場」以上に、お母さん同士の交流の場としての期待の大きさを感じています。

今後も、迷い悩みながら子育てをされているお母さんたちに、そっと寄り添える“広場”でありたいと考えています。

【できごと】・・・運動会にて

「よーい！ドン！！」

今日は、“にこにこ広場 安児夢”の運動会。万国旗を吊るした児童館は、運動会ムード満点！いつもと違う会場の雰囲気、子どもたちは一気にハイテンション！「走る練習をさせて来ました！」という気合十分のお母さんも・・・。

いよいよ競技が始まると、まだ日本語が通じない(笑)1、2歳児は、スタートラインに並べないし、3、4歳児は気に入って「もう1回！」と何度もしたがるので、なかなか思うように進みません。大騒ぎしながらも、お母さんたちにも手伝ってもらって、大笑いの楽しい運動会になりました。

豊後大野市 社会福祉協議会



「地域でひとりぼっちをつくらない」ための地区社協と連携した地域づくり

★連絡先

住所 豊後大野市三重町玉田 1128 番地

TEL 0974-22-6677

FAX 0974-22-3118

【活動目的】

合併し8年が経過する中で、「地域の福祉は地域が守る」と旗をあげ、7つの町ごとに7つの地区社会福祉協議会が平成24年3月までに設立されました。「地域で一人ぼっちをつくらない」を目指す方向と位置付け、市社協と足並みをそろえ地区社協ごとに地域の実情にあった活動を行っています。

【活動内容】

（市社協としては…）地区社協の事務局職員としての位置付け。市社協の地域活性化助成金交付事業による地区社協への助成。地区社協連絡会の開催。

（地区社協としては…）多くの人が地域で集うための例会の開催（意見・情報交換）

地区社協ごとの会報の発行（テーマ：地域には課題があるぞ！）

その他、地域ごとの「地域で一人ぼっちをつくらない」活動

結果…遠かった社協イメージが過去2年でずい分変わってきたように感じています。

また、自死者対策で市の事業と協働したことで「地域で一人ぼっちをつくらない」社協活動のPRになりました。

【できごと】

自治委員・民生委員・福祉委員による三者合同会議

世代間交流スポーツ大会

地区ごとの連絡会議（意見交換会）

独居高齢者交歓会

配食ボランティア

文化芸能交流会

地域課題調査

自治会ごとにサロンを設置（支援）する活動

もしもしお元気ですか活動（電話による安否確認事業）

小中学校との連携事業・・・など





由布市 社会福祉協議会

音楽を通じた コミュニケーション支援

★連絡先

住所 由布市庄内町庄内原 365 番地 1

TEL 097-582-2756

FAX 097-582-2878

【活動目的】

この事業は、知的障がいや発達障がいにより、生活のしづらさを抱えている子どもさんとその親御さんへの支援の一環として、音楽療法を通じ、コミュニケーション能力の促進を図り、持っている能力を引き出すこと、また、心のサポート支援を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域福祉づくりをめざしています。

【活動内容】

知的障がいや発達障がいにより、生活のしづらさを抱えている当事者やその親御さんに、音楽療法士の先生による歌やリズム遊び、様々な楽器を使用し、体全体を使いながら「音楽」というツールを使っの「音楽活動」、音楽療法士の先生が奏でる音楽を鑑賞し、回想とコミュニケーションの促進を促す「音楽鑑賞」の2つを中心に行っています。

【できごと】・・・アンケートから

* 『日頃、楽器とふれあう機会がないので、大変貴重な経験になっています』

(親御さん)

* 『家に閉じこもりがちな子どもの休日の過ごし方を変えてくれる素敵な時間です』

(親御さん)

* 『父親が子どもへのスキンシップとして音楽を取り入れてくれるようになりました』

(親御さん)

* 『ねらい・意図がはっきりしていて、わかりやすく、子どもの情緒面でとてもいい影響を与えてくれている』

(児童施設職員)



国東市 社会福祉協議会

黄色い旗運動

★連絡先

住所 国東市武蔵町古市 1086 番地 1

TEL 0978-68-1967

FAX 0978-68-1677

【活動目的】

黄色い旗運動は高齢者の見守りや地域住民同士の会話を増やすことで「支えあい助けあいの地域づくり」を目的としています。高齢者の見守りや孤独死の防止だけを目的とするのであれば、緊急通報システムやセンサー付きの家電製品を導入すれば済みますが、隣の人と会話がな、地域の中で孤立しているといった状況では「誰もが安心して暮らせる地域」とはいえません。

黄色い旗運動は高齢者の見守りだけでなく、地域の中で「顔が見える関係づくり」、「会話ができる関係づくり」を進めるためのコミュニケーションツールとなっています。

【活動内容】

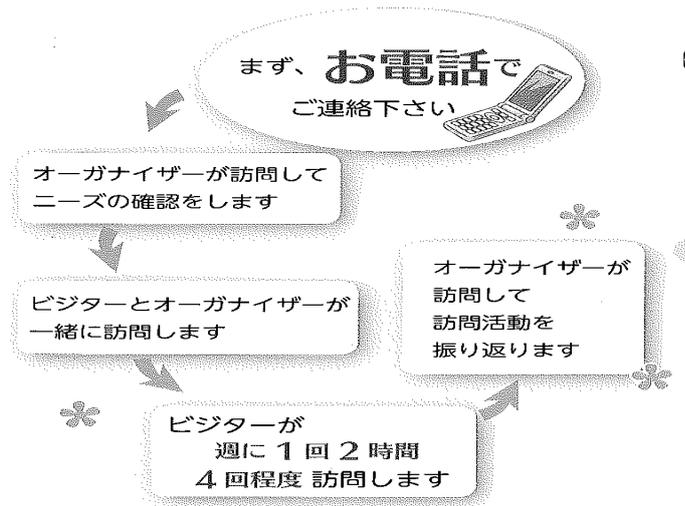
- ① 朝起きたら軒先に黄色い旗を立てる。
- ② 出かける時はそのままにしておく。
- ③ 夕方、黄色い旗を仕舞う。
- ④ 旗が出ていない家があれば近隣住民で訪問する。
- ⑤ 地域内の全ての世帯を対象に実施する。

黄色い旗運動は旗を立てるのが目的ではなく、会話を増やすことが目的なので、旗が出ていない家があれば訪問をして声かけをするようにしています。また、全世帯で取組むことにより一人暮らし世帯を特定しないという意味合いがあります。これにより悪徳訪問販売のターゲットになることを防ぎます。

【できごと】

ある一人暮らし高齢者の家に旗が出ていなかったため、訪問し話を聞くと、その日は体調がすぐれず、寂しい気持ちもあり、誰かと話したかったが、自分から出ていくような性格でもなく、誰かに来てほしくてわざと旗を出さなかったそうです。黄色い旗はそういった人々の寂しい心を代弁するアイテムにも成り得ています。

実施している地区の区長さんの話によれば、今までは何も気にせず通り過ぎていたが、黄色い旗が出ているか気にするようになり、お互いの関心が高くなったと実感しているそうです。



日出町 社会福祉協議会

ホームスタート・ひじ

住所 日出町大字藤原 2277 番地 1
TEL 0977-72-0323
FAX 0977-72-9785

【活動目的】

何らかの理由で子育て支援拠点等に足を運ばない家庭があります。

このような地域から孤立しているストレスの高い家庭に、直接的に働きかけることで、親が心の安定を取り戻し地域へと踏み出し、他の支援や人々とつながるきっかけづくりを目指します。また虐待予防にもつながります。

【活動内容】

未就学児のいる家庭に、週に1回、2時間程度の訪問を4回程度行います。傾聴、協働し、子育てをより楽しくできるように、子どもとその家庭をフレンドシップにのっとり地域の住民ボランティアで支える活動です。訪問するビジターは養成講座を修了した子育て経験のある先輩ママです。

【できごと】・・・利用者の感想

- *初めての育児で子どもとの関わり方が分からないままだったが、ビジターさんの子どもへの接し方をみて、「こんな感じでもいいんだ。」と思うことができた。
- *県外から引っ越してきたので、気軽に相談にのってもらったり、頼れる人がいなかったが、週1回来てくれて話を聴いてくれたりして安心した。
- *平日の日中は車がないため、外に出るのも困難であるが、自宅に訪問してくれるので助かった。
- *毎週来てくれるのを楽しみにしていた。





九重町 社会福祉協議会

福祉委員（区長）と 民生委員の地区懇談会

★連絡先

住所 九重町大字後野上17-1

TEL 0973-76-2500

FAX 0973-76-3835

【活動目的】

地域福祉推進の要となる“福祉委員”の役割が浸透していなかったことや、福祉委員と民生委員の連携がうまく図られていないことで地域の見守り活動など民生委員の負担が大きくなっていました。それらの解消や福祉委員、民生委員、行政や関係機関が地域のニーズ発見や課題解決、孤立・孤独防止活動に向けて有機的な連携を図ることを目的として開催しています。

【活動内容】

1年に1回の開催を目標として、4地区、それぞれの福祉委員の代表（区長理事）と民生委員地区会長が協議し、開催日や開催場所を決定します。事前に行政、社協や民児協で協議内容を決定し、次第を作成。懇談会の進行は活発な意見が引き出されるように地域課題を把握している民生委員が行います。

福祉委員の改選期には（2年ごと）福祉委員の役割と地域福祉推進における事業啓発や協力のお願いのため、行政や社協から事業説明を行います。懇談会のなかで地域が抱えているニーズや課題について、それぞれの立場から積極的に意見を出し合い意見交換会を行っています。

【できごと】

- * お互いの立場や活動内容を理解することで、民生委員と福祉委員の相互連携が深まった。
- * 行政や社協の事業内容について理解していただき前向きな意見を聴くことができた。